

環境マネジメント

環境保全のための従業員への教育や啓発を続けています。

連結環境マネジメントの強化推進

環境活動

豊田合成グループ全体で環境管理を推進しています。環境データを国内関係会社は2001年度から、海外関係会社は2003年度から集計をスタート。その環境データ (CO₂

排出量、廃棄物量、水使用量、VOC排出量他) を基に毎年年度目標を設定し、低減活動を推進しています。2016年度もグループ各社としっかり連携を図り活動しました。

環境管理対象(生産事業所)

<ul style="list-style-type: none"> ● 春日工場 ● 西溝口工場 ● 瀬戸工場 ● 稲沢工場 ● 尾西工場 ● 北九州工場 	<ul style="list-style-type: none"> ● 佐賀工場 ● 森町工場 ● 平和町工場 ● 神奈川工場 ● 福岡工場 	<ul style="list-style-type: none"> ● 豊田合成(株) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 一榮工業(株) ● 日乃出ゴム工業(株) ● 豊信合成(株) ● 豊田合成インテリア・マニファクチャリング(株) ● 海洋ゴム(株) ● ティージーオプシード(株) ● TGAP(株) ● TSオプト(株) ● 豊田合成東日本(株) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 豊田合成(株) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 豊田合成(株)
<ul style="list-style-type: none"> ● 豊田合成(株) 		<ul style="list-style-type: none"> ● 豊田合成(株) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 豊田合成(株) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 豊田合成(株) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 豊田合成(株)

● ISO14001取得済 新会社、主力工場については稼働3年を目処にISO14001取得

海外関係会社の環境管理体制の整備

海外では2010年度から中国地区、2014年度から豪亜地区、2015年度から米州地区と順次環境統括機能を設置し、管理体制の強化を行ってきました。

2016年度は海外の環境統括拠点を集めた環境ミニサミットの開催、定期的なTV会議を行うことで情報共有を図り、さらなる連携強化を図りました。

環境ミニサミットを初開催

2016年11月、北島技術センターと稲沢工場で環境ミニサミットを開催。海外の環境統括拠点である豊田合成ノースアメリカ(株)、豊田合成(上海)管理有限公司、豊田合成アジア(株)と欧州生産拠点を代表して豊田合成チェコ(有)から約20名が参加しました。第6次環境取り組みプラン、TG2050環境チャレンジの達成に向けて、グローバル環境管理の強化を推進するために、環境活動の必要性や環境統括拠点としての役割を確認し理解を深めました。

また、各拠点の好事例の共有、環境負荷低減事例の現地見学(稲沢工場)なども行いました。



各拠点の好事例を共有 低減事例の現地見学(稲沢工場)

環境監査

環境マネジメントシステムが適切に運用されているかを監査しています。

ISO14001環境監査

内部環境監査は、監査の独立性・客観性を高めるために、監査対象事業所以外のメンバーで構成したチームで実施します。また、豊田合成(株)では(一財)日本品質保証機構(JQA)に外部環境審査を依頼し、環境マネジメントシステムがISO14001に従い、適切に運営されているかを確認しています。2016年度も外部環境審査における豊田合成(株)と国内関係会社への指摘はありませんでした。



外部環境審査/森町工場 内部環境監査/小川工業(株)

海外環境監査

2014年度から2015年度までに海外拠点の環境監査を実施し、改善を進めてきました。2016年度は、海外拠点ごとの自主点検の実施と海外環境統括拠点による現地・現物での環境監査を行いました。



順法/環境「異常・苦情ゼロ」活動で管理を強化

毎年、全事業所の環境点検を行い、維持管理に努めています。他社で発生した不具合事例も解析し、国内外の関係会社を含め展開することで、同類設備の点検、未然防止に

取り組んでいます。2016年度は、工場長と環境部長による点検を実施。特に排水関係を重点的に点検し、未然防止を図りました。

PCB含有機器の適正処分と保管

有害で難分解性のPCB(ポリ塩化ビフェニル)廃棄物は、2027年3月末までに処理しなければならないことが法律で定められています。豊田合成(株)では2006年度から社外委託処理を開始し2016年度までに834台のPCB廃棄物の処理を完了しました。2016年7月に高濃度PCB廃棄物の処理を完了(水銀灯安定器など725台、1.6t)。



PCB処理

これにより当社が保管している高濃度PCB廃棄物は全て処理を完了しました。未処理の低濃度PCB廃棄物についても計画的に処理を進めていきます。

区分	種類	処理台数	処理重量
高濃度PCB廃棄物 (PCB濃度: 5,000mg/kg超)	安定器・電力 コンデンサなど	795台	6.8t
低濃度PCB廃棄物 (PCB濃度: 0.5~5,000mg/kg)	変圧器・電力 コンデンサなど	39台	60.1t

土壌・地下水の保全

過去に洗浄剤で使用していたトリクロロエチレンなどの有害物質による地下水汚染の監視と浄化に取り組んでいます。また、観測井戸を各工場に設置し、有害物質や油脂類による土壌・地下水の汚染がないことを定期的に確認しています。

事業所	対象	対策状況
春日工場	地下水	浄化中 (敷地外からの汚染の可能性もあるが積極的に浄化)
稲沢工場	地下水	過去、使用実績のない物質が検出されたことから、測定結果のみ定期的に行政へ報告 ※2010年以降は、基準未達(2012年度で行政報告終了)

グローバル社員教育・啓発活動の一層の強化

環境教育

自然破壊や環境汚染などの環境問題をはじめ、生産活動に伴う環境への影響、環境法令の順守などに関する従業員教育を行っています。内容も毎年、法律の動向を踏まえ

理解と実践に重点を置き、事例などを取り入れた具体的で分かりやすい教材をつくって行っています。

環境教育体系

階層別教育

豊田合成(株)	関係会社	
	国内	海外
新任管理者教育		
海外赴任者教育		
環境キーマン教育		
環境関係資格取得		
新入社員教育		

ISO教育

豊田合成(株)	関係会社	
	国内	海外
環境スタッフ教育		
内部監査員レベルアップ教育		
内部監査員登録教育		
管理監督者教育		
環境重要設備業務従事者教育		
一般従業員教育		

環境スタッフのスキルアップ教育

2016年度は国内外関係会社の環境スタッフを受け入れ、環境活動に関する世の中の動向や、環境の取り組み内容に関する教育を行いました。

2016年7月はタイの豊田合成アジア(株)、豊田合成タイランド(株)、豊田合成ラバータイランド(株)の現地スタッフを対象に研修を実施。環境管理業務に関する知識向上、環境負荷低減の着眼点や事例の共有を行いました。

さらに8月は豊田合成(上海)管理有限公司、11月は豊田合成ノースアメリカ(株)の環境マネージャーに対して、

CO₂低減やISO関連に関するエキスパートが教育を実施しました。また、国内では豊田合成東日本(株)の環境スタッフへ環境教育を実施しました。今後も環境統括拠点のスタッフを中心に環境教育を推進していきます。



廃棄物管理の現地見学(森町工場)

環境啓発

従業員一人ひとりが環境意識を持ち、行動に移せるように、参加型の取り組みを中心に行っています。

環境月間での啓発

2016年度は6月の環境月間に合わせて、ポスターや社内報などで啓発を行うとともに、環境に関する「創意工夫提案」を、全従業員から1件以上募集し、優秀な改善事例を表彰しました。

7月には省エネ・廃棄物低減の取り組みを紹介する「環境展示会」を開催。社内外の環境改善事例や専門業者の協力の下、最新アイテムの紹介をしました。また、豊田合成(株)と国内関係会社では、現地・現物による「環境管理点検」を行いました。



環境展示会



社内報

環境意識調査

豊田合成(株)の国内全従業員を対象に、初めて環境意識調査を行いました。環境動向と当社の環境活動への認知度などのアンケートを実施したところ、環境意識は高いものの、当社の環境活動に対する認知度は低く、一人ひとりの実践にも結び付いていない傾向が見られました。

今後はアンケート結果を踏まえ一般層への働きかけを積極的にいき、具体的な環境活動につながるような施策を実施していきます。また、調査の範囲をグローバルに広げていきます。

環境貢献表彰

環境意識の向上と環境活動の促進を目的に「環境貢献表彰制度」を設けています。豊田合成(株)の工場・事業所、生産準備部門と国内関係会社を対象に、環境活動で大きな成果をあげた会社や部門を表彰しています。

2016年度の工場・事業所部門では、ピーク電力の見える化、環境負荷低減の目標達成などを実現した西溝口工場を、生産準備部門では、量産化された製品で環境負荷低減に有

効な革新的な工法、製品企画・設計を行ったFC生産技術部が受賞。国内関係会社では、全社を挙げた環境活動の推進により環境負荷低減目標を達成した一栄工業(株)と、電力自由化に合わせた契約内容の見直しや電力会社を活用したCO₂低減を積極的に推進した豊信合成(株)を表彰しました。

環境講演会

2017年2月に従業員の環境意識向上を目的とした「環境講演会」を実施しました。講演会では、環境意識調査の結果を報告し、環境目標達成に向けた活動促進の必要性を訴求。エネルギー戦略研究所(株)所長による「低炭素社会の実現に向けた再生可能エネルギー拡大の動向」と題した講演や、落語家の林家 うん平氏による「江戸の環境リサイクル今日からできる簡単・環境問題解決法」についての講演もいただき、環境への意識を高めました。



環境講演会



落語家の林家 うん平氏

グリーンカーテン

従業員の環境意識の向上や夏場のエネルギー費用の低減を目的に、ゴーヤやキュウリを栽培して建物の南面を覆うグリーンカーテンの設置を行っています。2016年度も引き続き、グリーンカーテンのできばえを競う「グリーンカーテンコンテスト」を実施。「事業所の部」で5社11拠点、「個人の部」で21人の応募があり、3事業所、3個人が入賞

しました。8月には実ったゴーヤやキュウリを料理し従業員に提供しました。

また愛知県が主催する「あいち緑のカーテンコンテスト」で平和町工場のグリーンカーテンが「事業所部門・優秀賞」に選ばれ、愛知県の大村知事より表彰を受けました。



平和町工場



大村知事(左)から賞状を授与



ゴーヤの試食